

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 **新**海外バイヤーオンライン商談会開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 海外展開係 電話番号：058-272-1111 (内 3119)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,000千円 (現計予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額									

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県を代表する伝統工芸品等を扱う地場産業については、消費者のライフスタイルの変化等により国内需要が減少しつつあり、海外展開による新たな需要を喚起・開拓・拡大を図ることが必須である。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、海外見本市が中止・延期されるなど、商談機会の減少や国内外の需要低迷が続いていることから、新たな商談機会の設置や、販路拡大が必要である。

(2) 事業内容

これまで観光・食・モノの三位一体のトップセールスで関係を築いてきた欧米を中心とする国々の海外バイヤーに対し、県内モノづくり事業者とのマッチングの機会を提供するオンライン商談会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内企業が一から海外販路開拓を行うのはハードルが高い。県が率先して商談の機会を設けることにより、海外展開の経験が浅く、営業活動を十分展開出来ていない県内企業等が海外取引に積極的に取り組むための“呼び水”

となることを狙うため、県事業として実施することが適当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	141	職員旅費
委託料	9,529	オンライン商談会の開催
需用費	180	事務消耗品
役務費	150	通信運搬費
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ④「ぎふ」ブランドづくり
- ・岐阜県成長・雇用戦略
 - 6 戦略を推進するための基盤づくり (3) 販路拡大・海外展開

(2) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、海外見本市への出展や海外バイヤーを招請することは困難である。現地における認知度向上や海外バイヤーとの信頼関係を構築しビジネスパートナーとなるため、海外との行き来が出来るようになるまで当面継続的に事業を実施する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

公的機関である県が率先して海外販路開拓を支援することにより、海外における県産品の信頼度が高まり、海外と県内企業との継続的取引へと繋がる可能性が高くなる。また、県レベルの方が県内全域から県産品を紹介できるため、海外バイヤーのより幅広いニーズに対応できる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/>	新規要求事業
<input type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 コロナ禍で需要が激減し、商談機会が失われる中、海外バイヤーとのオンライン商談会を開催することで、即効性のある販売取引を実現するとともに、終息後の招請に向けた継続取引の足掛かりとする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
参加企業数 (延べ)	0 (R元)		(R)	150 (R2)	

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近年、経済のグローバル化・ボーダレス化に伴い、県内中小企業の国際化は産業政策上極めて重要な課題となっており、一層の支援強化が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

--	--

(次年度の方向性)

--	--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	